

仮想通貨XCN、APIエラーで90%以上の瞬間暴落が 発生

原文:

 $\underline{https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/chain-com-tokens-lose-96-of-value-in-24-hours-due-to-flash-crash-before-recovery}$



暗号資産(仮想通貨)のChain(XCXS)が14日に一瞬で暴落して905以上の価値を失い、その日のうちに 損失のほとんどを回復したとわかった。仮想通貨のChain(XCN)はクラウド・<u>ブロックチェーン</u>のイ ンフラを提供しているChain.comで独自トークンである。

Chain.comが発表した事後分析では、SGT午後1時(UCT午前8世)にマンットメーカーとAPIのエラーが発生し、仮想通貨XCNがナース下落しまった。この結果、対応する入札がAPI注文経由で動かなくなり、流動性の低される。ことになる。

しかし、SGT午後3時頃(UCT午前7時頃)には、Chain.comの開発者が<u>仮想通貨取引所</u>や市場参加者と交渉し、今回の暴落はセキュリティ侵害ではなく、<math>APIの技術的な問題が原因で売りが殺到したと判断したため、XCNトークンの価格は回復に向かった。

Crypto.comのCEOであるDeepak.eth氏によると、大規模なマージンコールがフラッシュクラッシュ(価格が瞬間暴落になること)を悪化させたようだ。 $\underline{\nu \, N \, \nu \, \nu \, \nu}$ をかけて購入した5億XCN(4224万ドル相当)ものトークンが短期間で清算された。

仮想通貨の価格は、需要と供給の変化と必ずしも比例するわけではない。短期間に1回の大きな取引や 一連の大規模な売買注文は、特に流動性が低い場合、仮想通貨の価格に不釣り合いな影響を与えること がある。 例えば、仮想通貨愛好家のdev.eth氏が先月初めて指摘したように、暗号プロジェクトCopeの開発者が、仮想通貨の厳しい時期を乗り越えてdevを維持するために、独自の仮想通貨COPE(トークン)を売る必要があると主張した。その後、仮想通貨COPEの価格が77%下落した。それは、流動性不足のため、開発者は発行済みのCOPEトークンのわずか10%を売却しただけで、大幅な下落を引き起こしたのだ。

【あわせて読みたい】

仮想通貨ALPHAとは?特徴や買い方・将来性を徹底解説

GMXとは?分散型取引所GMXの特徴や使い方を解説【仮想通貨】

仮想通貨へデラ(Hedera/HBAR)とは? 将来性や買い方を徹底解説

<u>ハイストリート(Highstreet/HIGH)とは?バイナンス主導のメタバースを解説</u>

仮想通貨LINA(Linear Finance)とは? 今後の価格予想や将来性を徹底解説

【仮想通貨】Reserve Rights(RSR/リザーブライツ)とは?特徴や今後の見通し・将来性を解説

SSV Network (SSV) とは?特徴や将来性・今後の見通しを徹底解説

【仮想通貨】スターゲート(Stargate/STG)とは?特徴や取引所を解説

仮想通貨スタックス(Stacks/STX)とは?将来性や買い方・取引所を徹底解説

仮想通貨Vechain (VET) とは? 今後の将来性や買い方を徹底解説

仮想通貨WOO Network (WOO) とは?将来性や買い方を徹底解説

仮想通貨YGG (Yield Guild Games) とは?将来性や買い方・特徴を徹底解説

仮想通貨YGG(Yield Guild Games)の今後予想や将来性を徹底解説

仮想通貨ゼロエックス(ZRX)とは?買い方や特徴・価格予想を徹底解説

仮想通貨Pepe 2.0(ペペコイン2.0)の買い方は? 今後予想も徹底解説!

仮想通貨Bancor(BNT)の将来性は? 価格動向や取引所・買い方を徹底解説